

本所今昔物語 本所と水(6)

稲場堤と佐野家

本所堤については既号でお伝えしましたが、本所にはもう一つ堤がありました。それは「稲場堤」といって現在は大東建託のアパートが建っています。

昭和22(1947)年の航空写真には「堤」の状態です。昭和37(1962)年の写真では田圃になっていますのでこの間に埋められたと思います。佐野会長によれば小学生の頃まで堤があったそうですから埋め立ては昭和35年頃と思われる。



国土地理院ウェブコンテンツより
1947年(昭和22年)撮影



稲場堤の
現在

稲場新田村※の肝煎に就任した佐野家は文禄4(1595)年に石地村肝煎・佐野小兵衛の子息が分家したことが始まりです。(佐野家記録より)見附市史



では本所組において、元和5(1619)年頃から寛永期(1624~1644)にかけて新田開発が盛んに行われ松之木新田村、土穿(つちほり)新田村、漆原新田村、稲場新田村、狐興野、柳橋新田村、福島新田村の7つの新田村が成立したとあります。更にこれらの開発は大肝煎、肝煎主導で行われたともあります。

佐野家定住時点で稲場新田村や漆原新田村が集落を形成していたかは不明です、しかし見附市史に本所組に多くの新田が成立したとあることから、佐野家が他村などから入植農民を集めたりして、新田開発を行い30~40年を掛けてようやく稲場新田村、漆原新田村を作ったものと思われる。

明治9年、政府の調査では、本所村24戸に対して稲場新田村5戸でした。また、稲場新田村は明治20年に本所村に合併しています。

本題の「稲場堤」については市史には記録がありませんので分かりませんが、新田を開発するのに必要欠くことが出来ない水利施設ですから、佐野家主導で同時期に作られたことは間違いありません。

※稲場新田村の名称について「稲葉」とする記録もあり、見附市史では「稲場」と「稲葉」が混在していますが、事実が判明するまでは「稲場」と表記します。

花がいっぱい

山谷クリニックさん前の街路花壇の植栽活動をされている「花・ともだちの会」さんの活動を紹介いたします。

同会は昭和町1丁目と本所1丁目1区の住民14軒程で組織され、昭和町1の栗林さんを代表に十年程活動されています。

会では年2回の植栽の他、日々の花壇の管理から歩道の清掃などを行い通行される人達に清々しい環境を提供されています。

植栽を行った6月16日には、市建設課・公園緑地係主催で研修会が行われ、参加者20人程が追肥の仕方やピンチの方法など熱心に質問されていました。



イングリッシュガーデンの講師が植え方の実演



4月22日撮影
チューリップが満開

表紙写真 1区在住、平賀大介さんの田に咲く蓮の花です。以前は沢山の農家が蓮根栽培をされていたと思いますが、今、町内ではここだけになりました。

さて、もうすぐお盆がやって参ります。仏教では「盂蘭盆会」という行事で、菩提寺に行かれる方も多いと思います。中国から伝わった仏教の経典『阿彌陀経』では釈迦が弟子に極楽浄土の美しさを教える所で「池に美しい蓮の花が咲いている」と話すくだりがあって、ここから蓮の花は浄土に咲く、高貴の花であるとされるようになりました。奈良や京都の寺の仏像には蓮華座といって蓮の花弁から形どられた台座に仏様がお座りになっているものがあります。

発行元

新潟県見附市「本所1丁目町内会」
担当 野水英男 TEL62-1542

かたくり

町内会だより
本所1丁目

2023年
(令和5年)

8
月号

2P 防火管理者就任あいさつ

春のクリーン作戦実施

西地区こども祭り実施

全市一斉防災訓練実施

3P 金子一男さん逝く

町内会主催親善ゴルフ大会結果

本所人「馬場政雄さん」

4P 本所今昔物語 本所と水(6)

花がいっぱい

防火管理者就任あいさつ

新年度から防火管理者に就任された板垣守さんをご紹介します。同氏は本所生まれ本所育ちの65才で造園会社を営んでいます。業務は本所会館の火災予防や自主防災組織の運営を担われます。



今年度から防火管理者を務めます板垣守です。前任者から教えて頂きながら職務を果たして行きたいと思えます。

何時起きるか分からないのが災害です。直近では「石川県能登地方地震」が記憶に新しいところで、それぞれの家庭で様々な災害に

対して出来る範囲で備えて置くことが大切です。

私は6年前まで消防団で公助の立場で災害対応に当たってきました。これからは皆さんと一緒に自助の立場で災害対応に当たりたいと思いますのでご協力の程宜しくお願いいたします。

春のクリーン作戦実施

見附西地区スマイルコミュニティ主催で4月9日(日)クリーン作戦が実施されました。朝まで強風と雨、更に低温で環境は最悪でしたが、始まる頃には少し晴れ間が覗き何とか実施できました。朝8時丁度に佐野会長(町内会・西コミ)の挨拶の後、6人の区長さんの先導により参加者それぞれの町内に赴きゴミ拾いを行いました。例年農家組合さんは別の日に実施されていましたが今年は日程を合わせたの実施となり更に活気のあるイベントになりました。



合同実施となった本所農家組合の皆さん

毎年参加されているごかぞくです。



西コミの発表では管内6箇所で実施して参加者は全体で254人、内本所1丁目129人でした。寒い中参加された皆さんご苦労様でした。

西地区子ども祭り「ランタンの夜」実施

5月27日(土)本所会館及び朝日野宮神社境内を会場に見附西地区スマイルコミュニティ主催の西地区子ども祭りが実施されました。

正副会長が都合で欠席されたために「いきいき・イベント部会長の小林英明さんが開会の挨拶をされ、カウントダウンには何と稲田市長が地元と言うことで務めて下さいました。



「5、4、3、、、開始の合図をされる稲田市長。



主催者を代表して挨拶を述べる小林部会長

今年は関係者の宣伝効果か参加者が非常に多くて、来場者が550人にも及び、各イベント場所では長い行列が出来ました。西コミ主催に変わったものの今までは「本所の祭り」的な評価からか学校町や昭和町等からの参加者は少なかったのですが、今年はそれらの地域からも多くの参加が目立ち、西コミ主催として認知されたようで嬉しい限りです。

全市一斉避難訓練実施

コロナ禍により中止されていた全市一斉避難訓練が4年ぶりに実施されました。

本所1丁目でも8時55分のサイレン吹鳴を合図に各区毎に指定された一時避難所に住民が避難しました。

全体の参加者は303人で、前回(令和元年)と比べて140人減でした。理由は色々考えられますが、3年休んだことや近年大きな災害を経験していないことなどがあると思います。

中学生参加者は前回の△24人。中学校でどのような説明がなされたのか検証が必要に感じます。



1区会場での避難風景です

当日区長さんからのご意見が寄せられましたので何点か紹介します。

- 1. どのサイレンで避難すべきか分からない人が多くいた。
- 2. 区長宅のFaxは区長が避難会場にいるために見ることができない。
- 3. 足腰の弱い高齢者が避難してきて辛そうだった。
- 4. 自分の家族のことは勿論、隣近所がお互いに助け合い協力出来る関係構築が急務。

※ご意見有難うございました。早速市当局に伝え改善を求めます。

※4のご意見については記者も感じています。本所の人口は増加の一途で嬉しいことですが、反面隣近所との関係が希薄になり、隣人の状況を知らない、といった傾向にあります。災害時は勿論のこと、平時でも課題があると思います。また、災害に備えて家族で話し合いが十分出来ているかも心配です。中学生の参加減少などはその辺りにも課題があるのではないのでしょうか。

参加者	一時避難場所	一般	中学生
1区	嵐南メジカルセンター	66	1
2区	本所南児童公園	31	0
3区	コミュニティ広場	69	4
4区	見附高校	40	2
5区	本所北児童公園	39	0
6区	本所保育園	58	1

金子一男さん逝く

見附小学校の登下校見守りを19年間も務められた1区在住の金子一男さんが5月14日ご病気のため逝去されました。晩年を本所の子供達の安全を守るために捧げられた84年の生涯でした。

以前本紙の取材に「子供が好きでこの活動を始めました。」と話をされていたことが印象に残ります。

朝、通学路に立ち、下校時には学校から子供達の安全確認をしながら本所まで一緒に歩き自宅付近まで送り届ける仕事です。自分の都合で休むことができないとも話されていました。子供達に優しく接したことからかつて金子さんから指導を受けた若者達からも慕われていました。

令和元年度にはこの功績が認められ見附市自治功労賞を受賞されました。長年のご労苦に敬意を表するとともに冥福をお祈り申し上げます。



2020.1.27 見小前で子供達を見守る金子さん

町内会主催親善ゴルフ大会結果

去る6月4日(日)下田城カントリークラブにおいて町内会主催、本所1丁目(春季)親善ゴルフ大会が開催され3区の久保正巳さんが優勝されました。おめでとうございます。

(上位入賞者6/17) 敬称略

- 1. 久保正巳 2. 池田浩子 3. 小林克太郎 4. 中林良夫 5. 近藤百合子 6. 藤崎領 ベスグロ賞 岡田能隆

秋季大会のお知らせ

期日10月1日(日)、場所 下田城カントリークラブ。参加をご希望の方は幹事までお申し出ください。

幹事 岡田能隆(63-1962)、渡辺茂雄(63-1821) 柴嶺哲(62-1874)

○幹事より 今回は女性の活躍が目立ちました、秋の大会には更に多くの皆さんからの参加を頂いて「女性活躍社会」を目指しましょう。

本所人(ほんじょじん) 馬場政雄さん

今回の本所人は、2区在住の馬場政雄(ばばまさお)さんです。馬場さんは旧越路町(来迎寺)ご出身の75才、本所住民歴42年で見附駅前「パン工房ラ・クレア」をご次男と運営されています。

今人気の天然酵母のパンのことやこの業界へ進出された経緯などを伺って来ました。

(問)馬場政雄さんがこの世界に進出されたきっかけは?

(答)以前は市内のニットメーカーに勤めていたが、次男が20年程の修行を経て地元に戻って来たのでそれを手伝う形で始めたものです。

(問)ラ・クレアは開店して何年ですか?

(答)今年で13年になります。

(問)ラ・クレアとはどのような意味ですか?

(答)イタリア語で「創造」や「創り出す」という意味です。

(問)ラ・クレアの特徴は何ですか?

(答)なんと言っても「天然酵母」を使っていることです。天然酵母を使うと甘くて美味しいパンが出来るのですが、完成するまで時間が掛かることと酵母の管理が非常に大変です。手間が掛かる分他とは比べものにならない豊かな味で、これが食べたいと市外からもお客さんが来て下さるのでありがたいと思います。

(問)お勧めの商品は?

(答)食パンです。特に「超プレミアム食パン」がお勧めですね。



馬場政雄さん

